真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月30日

事務事業名	環境保全活動促進事業		担当課・係	市民生活部　環境課　環境保全係
政策名　No	5	「環境づくり」～安全なまちアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	2	自然環境の保全と地球温暖化対策の推進		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	市内の自然環境保全活動に参加している市民の割合	%	29.9					38.0
	会議の会員数（個人）	人	50					
	会議の会員数（企業）	社	11					
	パートナーシップ会議によるボランティア参加者数	人	976					

事業内容

もおか環境パートナーシップ会議の運営補助により、企業や個人ボランティアが参加する「自然ふれあい園大久保」の保全活動を支援することにより、市民、事業者、行政の協働による環境保全活動の促進に繋げている。また、小学生を対象とした環境学習会や出前講座を開催し、地球温暖化防止をはじめとする環境問題に関する啓発を図っている。

令和6年度実績
・個人登録者と参加企業11団体により延べ1,081名の参加があった。
・環境学習会は４社との連携により、夏休み期間及び冬休み期間中に小学生親子を対象として実施し、4回で79人の参加があった。
・産業祭とあわせて実施した環境展では、ブースを設置し、31人が来場し、地球温暖化について学習を行った。
・真岡エコの会と共同で環境出前講座を実施し、市内の小中学校の児童、生徒延べ12校444名の参加があり、環境学習の推進に繋げることができた。

前年度の課題（Check）

・参加者のうち、個人登録者については高齢化が課題となっている。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業
・個人登録者と参加企業16団体により延べ976名の参加があった。
・環境学習会は4社との連携により、夏休み期間中に小学生親子を対象として実施し、4回で72人の参加があった。
・真岡エコの会と共同で環境出前講座を実施し、市内の小中学校の児童、生徒延べ14校576名の参加があり、環境学習の推進に繋げることができた。
・自然ふれあい園大久保については、企業及び個人ボランティアとの協働による維持管理を行い、自然環境の保全に繋がっている。
・高校生向けボランティア体験事業である「推しボラ」に参加し、若い世代に向けた啓発を強化する。
・新規会員の獲得に向け、市ホームページで活動内容を紹介するとともに、チラシを作成し、もおか環境パートナーシップ会議の活動の認知度向上を図っている。

【2】結果と課題（Check）
大久保部会のボランティア活動については、個人登録者と登録企業による活発な活動が行われている。これにより、「自然ふれあい園大久保」の適正な維持管理が行われ、自然環境の保全につながっているものの、参加者のうち、個人登録者については高齢化が課題となっており、今後活発な活動を行うためには若年層会員の増加が必要である。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
新規会員の獲得に向け、市ホームページや機関誌などによる情報発信の強化を行う。

(2) 長期的な計画で検討すること
会議の活性化を図るため、若年層会員の増加を図る